

YMCA 大阪青年

11

2022年11月1日発行
1916年6月1日創刊
発行/小川 健一郎
編集/大阪 YMCA 広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀 1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

2022年に大阪YMCAは創立140周年を迎えました



子どもの体力向上を目指して ～健康教育を推進するYMCA幼児教育への期待～

私は、YMCA松尾台幼稚園の近隣に住んでいることもあり、大学での研究活動を通じてお世話になったことからご縁が今もつながっています。その際、この園が創設当初から健康教育を柱とした幼児教育を展開されていることにとても興味深い思いを抱きました。

この園の創設時(1976年)、幼児教育は詰め込み教育、早期教育の弊害への反省として、子ども自身にもっと目を向け、子どもに即した保育を実現しようとする動きが目立ってきた時代でした。しかし、当時の幼児教育の時代背景は、学び(教科につながる学びなど)に偏りがちの傾向があったと思われます。しかし、YMCAでは創設当初から、健康教育を柱として、知能(IQ)(教科につながる学びなど)、心の知能(EQ)(心情・意欲・社会性など)、体の能力(PQ)(身体諸機関の発達・動きの獲得・生活習慣の確立)をバランスよく育むと、その教育方針に示されていることに驚かされました。

◎子どもの運動能力の低下問題が深刻な状況

スポーツ庁は2021年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(全国体力テスト)」の結果を公表しました。その記述の中に「実技では、

男子の合計得点が現行方式で調査を始めた2008年度以降、最も低くなった。また、一定間隔で20m走を繰り返すシャトルランと、中学生の持久走の結果が男女ともに過去最低だった。」という記述があります。少し古いデータですが、幼児の動作の獲得が年々遅れているという報告もあります。「男女児とも、いずれの年齢でも1985年の得点が優位に高く、1985年の年少児と2007年の年長児の得点がほぼ同じになっており、2007年の年長児は1985年の年少児と同等の動作しか獲得できていない。」と報告されています。※「1985年と2007年との動作得点の比較」山梨大学中村和彦(2009)

◎幼児期運動指針とは

幼児の運動能力の低下に対応するため、文部科学省は2012年、「幼児期運動指針」を示しました。その中に3つの提言がなされています。

- ①多様な動きが経験できるように様々な遊びを取り入れること
- ②楽しく身体を動かす時間を確保すること
- ③発達の特性に応じた遊びを提供すること

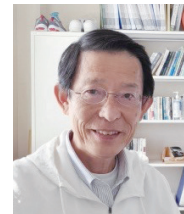
具体的にはまず、1日60分の運動遊びの時間を確保することが挙げられます。時間を確保

することで子どもたちは自然に遊び始めます。仲間がいれば一緒に遊べるでしょう。遊びの場所もみつけると考えられます。

◎まとめ

これまで現在の子どもの運動能力・幼児期運動指針に触れてきましたが、YMCA幼稚園は前述の通り創設当初から、学び・心・身体のパランスの良い健康教育を推進されています。すでに幼児期運動指針の提言が実現されており、ここに運動能力向上への回答があると改めて感じています。

これからも健康教育を中心としたYMCA幼児教育を推進することで、地域の教育力向上と子どもの健やかな成長に大いに寄与することを期待しています。



甲南女子大学
人間科学部総合子ども学科
教授

なかやま まさし
仲山 正志

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

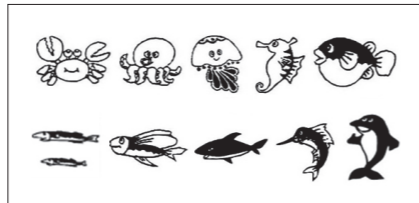
こども園事業の取り組み ～「子どものココロとカラダを健やかに育む」を実現する～

YMCAこども園では、子どもの自発的な「あそび」、子どもの「好きなこと」を育む園庭づくりや子どもの「健康づくり」に重点を置いた体育あそびや水泳プログラムを推進しています。そして私たちYMCAは、子どもたちの未来を想いながら豊かなココロと健やかなカラダを伸び伸びと育むこと、そしてその育ちを支えるためのあそび環境の創出と生涯につながる健康教育の実践を今後も継続していくことが大切であると考えています。

健康教育の主な取り組み ～年間を通した水泳活動～

YMCAこども園(幼稚園部)では、開園以来(松尾台1976年、しらがね1991年)、幼児のゆたかなところとたくましいからだづくり、そして仲間づくりをモットーに各クラスの保育担任とは別に体育の専門教諭を各クラスの体育担任として採用し、保育と体育の教諭とが協力しながら子どもの育ちを支えるチーム保育を行なっています。一年を通して水泳活動が実施できる室内温水プール(15m×6m)が設置されていて、毎週1回(40～60分)の水泳活動が午前中の保育カリキュラムの中に導入されています。(体育あそびの時間は別枠で同じ週1回実施)。

また、芝生の園庭では、簡易プールを設けたダイナミックな水遊び体験や夏休みには近隣地域の子育て家庭に園庭を開放して水遊びを通じた交流の場としての機会の提供、水上安全教育として着衣泳や川・海など水辺での活動の危険な事例をあげた安全指導の時間を設け、地域の安全力向上に取り組んでいます。



日本YMCA同盟 アクアティックプログラムの技能習得10段階ワッペン

ユースの声 vol.5 ～「ただいま」「おかえり」の言葉に思いをこめて～

YMCA松尾台こども園 スタッフ ^{の だ あいり} 野田 愛梨

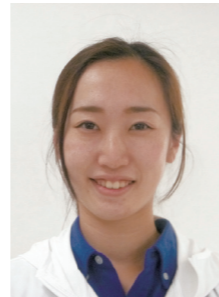
卒園した松尾台こども園に、職員として22年ぶりに帰ってきました。園舎は、少し変わった場所もありましたが、広々とした芝生の園庭や毎日過ごした保育室などは当時とほとんど変わっていませんでした。とても懐かしい、嬉しい気持ちになり、いつも笑顔だった先生やどんな時でも一緒に遊んだ大好きなお友達とずっと過ごしていたと思っていた園児の頃を思い出しました。

そして、そんな当時の私の夢は、幼稚園の先生になることでした。今、私はその夢が叶って、現在、キンダークラスでパート職員として働いています。このキンダークラスは、14時まで幼稚園で過ごした後、18時までの時間を改めて過ごすところです。このキンダークラスは、まず「おかえり」という言葉から始まります。子どもたちは家に帰って家族に「ただいま」と言うように、私たち保育者に「ただいま」と言ってくれます。私たち保育者も家に帰ってきたような居心地の良い空間で過ごして欲しいという思いで「おかえり」と声をかけています。

私自身まだまだ未熟で思うような保育ができず悩んでしまうこともあります。先輩保育者や周りの方々からアドバイスをいただきながら、毎日見せてくれる子どもたちの笑顔が力になっています。当時の自分のように一人でも多くの子どもが「幼稚園って楽しい!」と思えるような保育を心がけながら、今後も日々の保育に丁寧に携わっていきます。



園児の頃の筆者(左)



YMCAストーリー vol.4 ～夢は「世界の架け橋に!」～

長崎大学医学部保健学科2年 YMCA松尾台幼稚園 卒園児 ^{もりた さえか} 森田 沙歌

現在の私を形成したのはYMCAで過ごした幼少期の日々と言っても過言ではありません。幼稚園卒園後も小学6年生まで英語教室、その後も様々なYMCAプログラムに、参加させていただきました。そのひとつが、高校2年生で参加した、「東南アジア教育支援プロジェクト in ミャンマー」でした。このミャンマーを訪れたことが、私の人生のターニングポイントとなりました。初めて訪れた発展途上国であり、未舗装路、ストリートチルドレン、物乞いをする人など目にするものが驚きでした。当時の私はカルチャーショックも大きく、ミャンマーでの活動が心の底から楽しめなかったのです。ただ、そこで感じたこと、過ごした時間が忘れられませんでした。そしていつしか、その経験から、途上国の医療支援に関わりたいと思うようになりました。大学に進学し、現在、その夢を叶えるため、グローバル人材育成プロジェクトの一環でケニアに留学しています。現地の言葉が分からないことや自分の思いが全て上手く伝わらないこと、価値観や文化の違い、アジア人差別の実態、全く知らない土地での生活など、日々葛藤しながら過ごしていますが、この経験を活かして、将来は日本と世界の架け橋になれるよう努力しています。これからもユースが活躍できる、夢を持つきっかけとなるようなYMCA活動がいつまでも続くことを願っています。



高校生の時に参加した2018YMCA教育支援プロジェクトの様子



現在、留学先のケニアでの様子

私のSDGs vol.4 ～年中組(4歳児)の一泊キャンプを通して～

YMCA松尾台こども園 4歳児担任 ^{いまい さき よしまつ たまき しんかい もえ} 今井 咲・吉松 環・新開 萌

YMCA松尾台こども園の年中組(4歳児)では、毎年自然に関するテーマを決めて宿泊保育を行っています。今年のテーマは「木」です。ある日、木のキャラクター「もくちゃん」からお手紙が届きました。初めは、「何?」「誰?」と戸惑っていましたが、何度も手紙のやり取りをするうちに次第に興味を持ち始めた子どもたち。そして、「もくちゃん」やその仲間たちを通して、木にはいろいろな種類があることや自分たちの知っているモノの中には、木からできたものがあることを知り、また紙がどうやってできているのかなどを実際に体験しながら学びました。

「なぜ、森を守るのか?」「どうして、紙を大切にするのか?」など、「もくちゃん」との出会いを通して自然と共に生きていくことの大切さを小さなココロとカラダでいっぱい感じた1泊キャンプでした。



2022年度年中組 一泊キャンプでの様子

YMCA学院高等学校 20周年記念礼拝・記念発表会

～今の高校生が考えていること～

「あなたにとってYMCA学院高等学校はどんな場所?」という生徒への問いかけに、「将来の夢を見つけることができた大切な場所」「どんな自分でも受け入れてくれる大切な場所」「ありのままの姿で通える学校」などの答えがありました。このような生徒たちの言葉に、私たち教職員は本当に励まされます。

2022年度、たくさんの方の支援の中、YMCA学院高等学校は20周年を迎えました。2022年10月9日(日)に開催した記念礼拝・記念発表会は在校生と卒業生が中心となって運営し、彼らのダンス、歌、楽器演奏や展示発表等とおして、イキイキとした「命」を感じる時間となりました。入学時、「自分には生きている

価値がない」と感じている生徒たちがたくさんいます。生徒たち一人ひとりが幸せな生活を歩めるよう、私たちは「あなたがここにいるだけで充分」とメッセージをこれからも出し続けていきたいと思えます。そして、多彩な出会いを通して、新しい自分に出会い、幸せを感じ、それぞれの社会を拓くことを願っています。



高校生による社会問題解決への取り組み ～Life below water～

大阪YMCA国際専門学校国際高等課程国際学科2年 ^{みやまき れいな} 宮迫 怜菜

私は去年の8月から今年の2月まで、ワン・ワールド・フェスティバル for Youthという関西地域の高校生が社会課題の解決に向け行動を起こす取り組みに参加しました。この活動で、私は海洋プラスチック問題について取り組みました。提言する場を個人ではなく大きな組織にすることが問題解決への近道と考え、私の通う大阪YMCA国際専門学校国際高等課程国際学科に提言書を渡しました。提言書では海洋プラスチック問題の現状を伝え、ウォーターサーバーを学校に設置することを提案しました。生徒たちがマイボトルを持参することで、ペットボトルの使用量を大幅に削減できるからです。提言書を受理した学校は、ウォーターサーバーの設置を約束してくれました。

また、佐竹 敦子さんという環境活動家の方が作成した映画の上映会が朝日新聞大阪本社アサコムホールで行われ、私たちの提言書もその場で発表しました。活動を通して環境問題への知識が深まっただけでなく、ミーティングを重ねる中で、円滑に時間通りに進むようにアジェンダを作成したり、チームの意見をまとめながら議事録をとるスキルも身につけ、大きく成長することができました。



新しいYの動き ～エンジェルスイミングの子どもたちが水泳大会に出場～

ユース事業部 南ウエルネス ^{なみき さとこ} 並木 聡子

天王寺にある南YMCAの室内25mプールでは約1000名の子どもたちや大人が水泳を行っています。そのプールで、チャリティーランの支援金プログラムとして知的障がい児や発達障がい児対象の水泳教室「エンジェルスイミング」を年間20回実施しています。

これまでエンジェルスイミングの子どもたちはクラスに参加するのみでしたが、昨年度の第38回中日本YMCA水泳大会に、初めてエンジェルスイミングの子どもたち3名が大会に出場しました。自由形の25mや50mに出場した子どもたちは、初めての大会に緊張した様子で

したが、完泳を記念したメダルを嬉しそうに受け取っていました。大会後のクラスでは、さらなる成長を目指し、また一層練習に励んでいます。

今回の大会は2023年2月19日に実施される予定です。障がいの有無関係なく、スポーツに取り組める活動を共に作り上げていきます。



2022年度大阪YMCA大会のお知らせ

日時：2022年11月23日(水・祝)10:00~12:30(予定)

場所：大阪YMCA会館(土佐堀) 及び オンライン

開催概要

大阪YMCAの活動報告、会員表彰者紹介、交流プログラムを予定しています。

交流プログラムでは、「みつかる、つながるYバーチャルシティ」発表会と「VISION150座談会」を実施いたします。

●「みつかる、つながるYバーチャルシティ」発表会

今年は、さらなる「みつかる、つながる」をめざし、会員ボランティア同士、支援者とプログラム担当者など多様なつながりの場として大阪YMCA初の会員交流バーチャル空間を創りました！ウェブ上で自分のアバターを自由に動かし、相手のアバターに近づけることで簡単に話かけられるのが特徴です。

ぜひあなたも「みつかる、つながるYバーチャルシティ」で新しい活動を見つけ、誰とつながり、どんな自分でありたいかを共に考えましょう！

※アバター インターネット上で自分の分身として使われるキャラクターのことを指します。

●VISION150座談会

大阪YMCAは今年、創立140周年を迎えました。これから150周年へと歩みを進める一つとして「VISION150」の策定を進めています。さて、10年後はどのような社会になっているのでしょうか？10年後、みなさんはどんなYMCAを描いていますか？事前に世代ごとに座談会を実施し、大会当日には世代別代表の方の座談会を実施します。VISION150の策定を大阪YMCA全てのみなさんと共に進めていきます！

ご参加方法 会場参加 及び オンライン参加

どちらも事前申し込み制です。

(申し込みフォームリンクは11/11にホームページに掲載いたします。)

お問い合わせ 大阪YMCA 統括本部 (勢井・美濃出)

TEL：06-6441-0894 E-mail：info@osakaymca.org

ユースリーダー安全支援金へのご協力に感謝申し上げます。

2022年9月度報告・敬称略

赤松 亜由美	粕谷 和彦	柴田 香津子	永尾 容子	松本 三枝子
秋山 健二	片岡 千賀子	清水 真一	長田 英子	松本 祐香史
天野 一葉	蒲田 知子	清水 由紀乃	中西 創楽	箕浦 史郎
東里 英実	蒲田 泰宏	小路 修	中村 勝吾	美濃出 咲子
粟野 加寿美	河合 美保	正野 忠之	並木 聡子	宮原 学
飯田 雪子	川上 良太	杉浦 眞喜子	奈良 有希子	宮本 修司
飯沼 眞	川岸 清	センチニアル ワイズメンズクラブ	西村 麻衣	森下 恵子
石井 種男	川端 康彦	田頭 佳子	野田 将弘	森田 淳子
石野 小葉都	川良 昌宏	高橋 京子	野間 のぞみ	森田 ひとみ
出原 廣太	北澤 圭太郎	高松 葉子	野間 のぞみ	森本 信子
井上 紀子	北村 久美子	瀧口 紗緒理	則兼 千世	森山 恒貴
今井 咲	木下 康生	武井 和子	長谷部 一義	矢島 律子
今井 利子	切通 菜摘	田中 章代	畑 ひろこ	保田 圭子
岩下 寛子	NGOYEN HOYNH GIAO	田中 紗季	浜口 真理	山植 亜耶
岩原 義則	GIAO	田邊 紗季	浜野 慎也	山内 淳子
上田 裕子	國津 香織	丹吾 礼	浜野 昌保	山内 達生
上床 敦	久保 美和	津田 晃男	久岡 美弘	山崎 憲
植村 梨花子	小池 晃	Timothy Ellsworth	久林 愛希	山本 晃平
江見 淑子	小久保 裕子	欽谷 明	樋上 恵一	湯浅 慎也
惠美奈 博光	小島 宏樹	寺下 祐子	福島 眞一	吉岡 香代子
惠美奈 富紀子	Gokce Delioglu	土居 いずみ	藤井 弥生	吉田 陽香
老邑 敬子	小山 陽子	土佐堀ワイズ メンズクラブ	藤好 基子	吉田 由美
大阪なかのしま ワイズメンズクラブ	坂田 啓子	株式会社トラベル ファイブジャパン	藤原 年代	吉村 周平
大阪ワイズメンズ クラブ	佐々木 貞子	鳥居 翠	古谷 佳之	余田 奈央
岡崎 敦子	笹山 公男	中井 琴子	樹井 智之	若林 美帆
小原 舞香	澤飯 亜由美	中井 則子	松浦 恵子	和崎 智代子
小原 早代里	澤田 綾乃	中井 正博	松岡 慶一	和田 早苗
	柴田 和男		松野 五郎	
			松本 武彦	

インフォメーション

大阪YWCA・関西韓国YMCA・大阪YMCA 合同祈祷週集会2022

Ignite : Praying the Impact

「暗闇に火を灯す：インパクト*のための祈りを捧げる」

*impactとは、影響を与える、もしくは反響を起こすような意味です。

毎年、世界中のYMCA・YWCAに連なる人々が1つのテーマをもとに心をあわせ、祈りの時を持つ世界YMCA/YWCA合同祈祷週集会を開催します。

前半はテーマに沿った祈りのひとときを、後半の交流会では各Yの活動報告を行います。どなたでもご参加いただける集いですので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日時：2022年11月14日(月) 18:30~20:00(受付:18:00~)

場所：大阪YWCA(大阪市北区神山町11-12)

参加費：無料

第342回 早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

日時：2022年11月18日(金) 7:30~8:15

証し：神田 尚人さん(公益財団法人大阪YMCA監事・元大阪YMCA国際専門学校校長)

場所：大阪YMCA会館(土佐堀) 10階チャペル

※朝食会はありません。

※中止の場合は大阪YMCAホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。



大阪YMCA 統括本部 総務
TEL：06-6441-0894
E-mail：info@osakaymca.org

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2022年9月度報告・敬称略

【継続会員】

秋田 正人
有賀 千裕
大川 寧々
大谷 勝彦
田尻 忠邦
仁木 峻平
西川 真由

【継続賛助会員】

浜崎 正三
眞嶋 克成
松岡 慶一
【新規会員】
島 幸之介
中川 卓弥

【継続賛助会員】

大志野産業株式会社
関西キリンビバレッジサービス株式会社
株式会社バーナル
阪急電鉄株式会社

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧ください
ます。

